



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 大日精化工業株式会社

コード番号 4116 URL <http://www.daicolor.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 弘二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 推進機構担当

(氏名) 榎原 俊哉

TEL 03-3662-7128

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日

配当支払開始予定日

平成27年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	80,052	△1.9	5,207	0.1	5,541	0.5	4,083	20.1
27年3月期第2四半期	81,620	4.6	5,203	25.6	5,515	20.1	3,398	24.5

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 4,164百万円 (8.1%) 27年3月期第2四半期 3,851百万円 (△34.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	43.99	—
27年3月期第2四半期	36.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	177,760	80,603	44.1
27年3月期	177,458	77,184	42.2

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 78,394百万円 27年3月期 74,970百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	6.00	—	7.00	13.00
28年3月期	—	7.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	168,000	3.1	10,000	7.9	10,300	2.8	6,700	18.3	72.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	93,065,554 株	27年3月期	93,065,554 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	234,522 株	27年3月期	230,902 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	92,832,972 株	27年3月期2Q	92,842,428 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に關しましては添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、個人消費は力強さを欠くものの、企業収益の改善と設備投資の増加を背景として回復基調が続きました。一方、海外経済は中国や新興国の景気が減速し、米国の利上げ観測のもと不安定な状況が続きました。

このような経済環境のもとで、当第2四半期連結累計期間の売上高は、800億5千2百万円（前年同期比1.9%減）となりましたが、営業利益は高付加価値製品の拡販の成果もあり52億7百万円（同0.1%増）、経常利益は55億4千1百万円（同0.5%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は特別損失の計上額が減少したことなどにより、40億8千3百万円（同20.1%増）となりました。

次に事業セグメントの業績についてご報告いたします。なお、営業利益につきましては、全社費用等の配分前記載しております。

(化成品事業)

当事業は、無機・有機顔料、各種着色剤、情報記録関連材料の製造・販売を行っております。情報記録関連の製品は好調を継続しましたが、汎用顔料やカラーフィルター用の顔料の販売が低迷いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は123億8百万円（同0.6%減）となり、営業利益は21億3千万円（同1.5%減）となりました。

(化学品事業)

当事業は、各種合成樹脂着色剤・コンパウンド、各種コート材の製造・販売を行っております。車両業界向け着色剤のうち海外向けは引き続き好調を継続したものの、国内向けは不振が続きました。また、アジアの連結子会社の業績はまだら模様の状況となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は429億8千7百万円（同3.9%減）となり、営業利益は23億8千6百万円（同7.5%減）となりました。

(高分子事業)

当事業は、高分子製品、天然高分子製品の製造・販売を行っております。車両業界向けの内装用材料は、好調な北米需要などにより引き続き伸長いたしました。情報記録関連材料の特殊コーティング剤、アパレル分野向けポリウレタン樹脂の販売も好調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は90億7千9百万円（同1.5%増）となり、営業利益は17億3千5百万円（同13.6%増）となりました。

(印刷総合システム事業)

当事業は、各種印刷インキの製造・販売及び事業に付帯する商品とサービスを提供しております。国内のグラフィックインキのパッケージ業界は、飲料及び食品向けともに堅調に推移しました。東南アジア市場においても生活関連向けや食品関連向けを中心に順調に推移しました。一方、オフセットインキは引き続き需要が減少しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は150億1千2百万円（同1.3%増）となり、営業利益は15億1千4百万円（同26.3%増）となりました。

(その他事業)

当事業は、グループ各社への不動産賃貸及び金融事業等を行っております。当セグメントの売上高は6億6千4百万円（同11.6%減）となり、営業損失は1億5千7百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,777億6千万円となり、前連結会計年度末と比べ3億2百万円増加いたしました。これは、「現金及び預金」が減少したことなどにより流動資産が12億5千万円減少した一方で、「退職給付に係る資産」が増加したことなどにより固定資産が15億5千3百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は971億5千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ31億1千6百万円減少いたしました。これは、「短期借入金」及び「長期借入金」が減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は806億3百万円となり、前連結会計年度末と比べ34億1千9百万円増加いたしました。これは、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を計上したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年5月12日に公表した以下の数値より変更はありません。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
通期	168,000	10,000	10,300	6,700

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,694	24,192
受取手形及び売掛金	47,840	48,026
たな卸資産	26,139	27,237
その他	2,802	2,750
貸倒引当金	△77	△56
流動資産合計	103,400	102,149
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,050	18,864
その他(純額)	25,696	25,937
有形固定資産合計	44,746	44,801
無形固定資産		
その他	1,325	1,352
無形固定資産合計	1,325	1,352
投資その他の資産		
投資有価証券	19,735	19,743
退職給付に係る資産	5,397	6,425
その他	2,959	3,383
貸倒引当金	△106	△94
投資その他の資産合計	27,985	29,457
固定資産合計	74,057	75,610
資産合計	177,458	177,760
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,108	26,303
短期借入金	19,188	18,066
1年内返済予定の長期借入金	9,914	10,240
未払法人税等	1,391	1,295
賞与引当金	2,133	2,233
環境対策引当金	181	96
その他	5,187	5,324
流動負債合計	65,104	63,560
固定負債		
長期借入金	21,349	20,227
役員退職慰労引当金	372	179
関係会社整理損失引当金	539	166
環境対策引当金	461	445
退職給付に係る負債	8,730	8,715
その他	3,716	3,862
固定負債合計	35,169	33,595
負債合計	100,273	97,156

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,193	9,193
利益剰余金	48,097	51,530
自己株式	△99	△101
株主資本合計	67,231	70,663
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,188	6,081
繰延ヘッジ損益	△14	0
為替換算調整勘定	1,376	1,305
退職給付に係る調整累計額	188	344
その他の包括利益累計額合計	7,739	7,731
非支配株主持分	2,213	2,208
純資産合計	77,184	80,603
負債純資産合計	177,458	177,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	81,620	80,052
売上原価	68,060	66,064
売上総利益	13,560	13,987
販売費及び一般管理費	8,357	8,780
営業利益	5,203	5,207
営業外収益		
受取利息	36	43
受取配当金	124	143
持分法による投資利益	94	146
為替差益	1	—
保険配当金	165	196
その他	283	247
営業外収益合計	705	777
営業外費用		
支払利息	325	306
為替差損	—	82
その他	67	54
営業外費用合計	392	444
経常利益	5,515	5,541
特別利益		
固定資産売却益	201	165
関係会社整理損失引当金戻入額	—	108
その他	68	122
特別利益合計	270	396
特別損失		
災害による損失	31	61
固定資産除却損	33	56
環境対策費	179	81
貸倒引当金繰入額	417	—
その他	120	16
特別損失合計	782	217
税金等調整前四半期純利益	5,003	5,720
法人税、住民税及び事業税	1,448	1,431
法人税等調整額	101	134
法人税等合計	1,549	1,566
四半期純利益	3,454	4,154
非支配株主に帰属する四半期純利益	55	71
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,398	4,083

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	3,454	4,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	942	△113
繰延ヘッジ損益	△2	15
為替換算調整勘定	△733	△61
退職給付に係る調整額	233	156
持分法適用会社に対する持分相当額	△43	12
その他の包括利益合計	396	9
四半期包括利益	3,851	4,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,850	4,076
非支配株主に係る四半期包括利益	1	87

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1,2)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	12,383	44,725	8,946	14,814	751	81,620	—	81,620
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	253	17	35	0	8,115	8,422	(8,422)	—
計	12,636	44,742	8,981	14,815	8,867	90,043	(8,422)	81,620
セグメント利益 (営業利益)	2,163	2,579	1,527	1,198	72	7,542	(2,339)	5,203

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用2,339百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2,3)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業 (注1)	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	12,308	42,987	9,079	15,012	664	80,052	—	80,052
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	270	15	39	4	7,706	8,036	(8,036)	—
計	12,578	43,003	9,119	15,017	8,370	88,088	(8,036)	80,052
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	2,130	2,386	1,735	1,514	△157	7,609	(2,401)	5,207

- (注) 1. 「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行っておりません。
2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用2,401百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。